



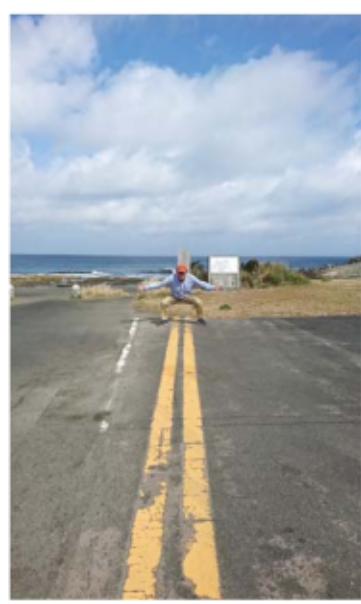
ミナルからあかも離れた場所に着するの(重い荷物を引きずり、街中まで歩いたので体はボロボロ)。名瀬の知人が加計呂麻には必ず行けと言った。雨中で気が重く、肌寒かったが、安脚場、島尾徹夫記念碑、諸鈍、実久フルーどれもが印象的だった。瀬戸内から名瀬までのトンネルの長さにも驚いた。周りを山に囲

がここにはある。工場見学をしなかったのが心残りだが、次回の宿題だろう。あ、鶏飯もおいしかった。徳之島は以前、訪問したことがあったので、見送った(その後、3月に空路で訪問)。実は名瀬から沖永良部、与論、沖繩とフェリーでつないで南下する計画だったが、ここで計画が大きく狂う。まず、しけでフ

るとか連絡が入った。いや正確には抜港だったかもしれない(この言葉を初めて聞いた)。残された道は一つ、JACで那覇に飛ぶしかない。急ぎよ、沖繩のホテルを予約し、夜は泡盛とチャンプルー。一泊で戻ってくるから翌日は重い荷物をホテルに預け、那覇から与論に飛ぶ。これは琉球コミュニ

まい、沖繩と与論をしっと見る。北緯27度線はどこか目を凝らしたが、どこにも線はなかった。ほぼ2週間の島伝いの旅はかくて終わった。奄美の皆さん、お世話になりました。まだまだ真冬が続く北海道。飛んでいきたくど、コロナがなあ。いま3月後半に与論に行けないかと真剣に悩んでいる。JACはPCR検査をほぼ無料で受けさせてくれるそうだし。

北海道大学から来たと称する怪しいオヤジが現れたら、それは私です。せひ黒糖焼酎の一杯もお付き合いください。ね。 「奄美」は奄美。だが、この奄美は主尊が必ずしも中心にはいない。地域のどこもが主尊になる独自の奄美茶羅を持っている。そしてその奄美茶羅は世界とつながる。私のモットー「世界はポーターフル」。奄美は間違いなく、その中心のひとつだ。



喜界島。東経130度もポーター！

# 奄美曼茶羅

昨年2月10日夜半、大島を目指し鹿児島港からフェリーとしまに乗船。としま? 限られた時間のなかトカラ列島を一目でも見たかった。小ぶりの新造船は快適だ。早々にベッドに潜りこむも起床は5時(口之島着)。

中之島から宝島まで、1時間おきに寝ほけまなこでデッキに降りて島影を撮る。15時半、名瀬に着くがへろへろ。大島の人たちの多くが、この船に乗ったことないそうだが、鹿児島島に行くためには使えない。でも、としまだけ、なぜター

まれた大和村と字検村、奄美市に合併しなかった龍郷、鹿児島への近さを誇りにする笠利。一つの島として語れない大島のスケールと小宇宙のそれぞれの違いと重なりを学んだ。

期待したのが喜界島。大島からの往路が深夜、帰路が早朝なので泊しなければならぬが、私の若いころ伝説となった銘酒「朝日」

エリーが欠航。急ぎよ、日本エアコミュニティー(JAC)のイチオシ、ホッパー便を使って沖永良部に向かった。沖永良部は面白い。西郷隆盛を慕う和泊と琉球に親しい知名の違いを知った。「西郷どん」の海岸口ケ地は知名だったのね。さあ、明日はいよいよ憧れの与論。と思いきや、しけでまたまたフェリーが欠航す

翌日は快晴。波も穏やか。予定通りにマリックスで那覇へ向かう。甲板でたたず

「奄美」は奄美。だが、この奄美は主尊が必ずしも中心にはいない。地域のどこもが主尊になる独自の奄美茶羅を持っている。そしてその奄美茶羅は世界とつながる。私のモットー「世界はポーターフル」。奄美は間違いなく、その中心のひとつだ。

またまたフェリーが欠航す

またまたフェリーが欠航す

またまたフェリーが欠航す

またまたフェリーが欠航す

またまたフェリーが欠航す

またまたフェリーが欠航す

またまたフェリーが欠航す